



田上町 議会だより

第119号

■平成30年8月24日発行



▲ 田上団九郎夏まつり綱引き大会

6月定例会	P 2
陳情・発議案	P 3
一般質問(10議員)	P 4～13
付託案件審査報告	P 14～15
一部事務組合報告・交流会館等建設調査特別委員会・全員協議会	P 16～17
議会からのお知らせ	P 17
「新任議員の決意」／編集後記	P 18



田上町の「今」と「これから」をお伝えします

- ・佐野新町長所信表明
「オール田上」の町政をつらぬく
- ・補選の4氏を加え議員定数が1年半ぶりに復活
- ・教育委員会教育長の任命
- ・原子力発電所再稼働に関する意見書を国および
県知事へ提出



▲町長の所信表明演説

議案

【人事案件】(欠員の選任)

・常任委員会委員の選任

・総務産経常任委員

渡邊勝衛 議員

藤田直一 議員

・社会文教常任委員

高橋秀昌 議員

中野和美 議員

・広報常任委員

中野和美 議員

渡邊勝衛 議員

藤田直一 議員

・議会運営委員会委員の選任

高橋秀昌 議員

高取正人 議員

・三条地域水道用水供給企業団
議会議員の選挙

渡邊勝衛 議員

藤田直一 議員

【専決処分】

・税条例等の一部改正

・国民健康保険条例の一部改正

・国民健康保険税条例の一部改正

・29年度一般会計補正予算

・30年度一般会計補正予算

【30年度補正予算】

・一般会計

・下水道事業特別会計

・水道事業会計

【その他】

・田上終末処理場水処理施設
(電気設備)改築更新工事請負
契約

・新潟県中越福祉事務組合規約
の変更

・29年度一般会計繰越明許費繰
越計算書の報告

・29年度一般会計継続費繰越計
算書の報告

・県央土地開発公社事業計画書
及び事業報告書の提出

【追加議案・人事案件】

・教育委員会教育長の任命

安中長市氏



▲安中新教育長

議案はすべて同意・可決・承認
しました。

陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 3 号	「生産性向上特別措置法」に基づく導入促進基本計画の策定及び固定資産税の特例措置に関する要望	田上町商工会 会長 野澤幸司

議員発議による発議案

番 号	件 名	内 容	提出議員	議決結果	要請書提出先
発 議 第 2 号	原子力発電所再稼働に関する意見書 柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する意見書	国に対し、原子力発電所の再稼働には中止を含め慎重な対応を強く求めるもの。 県に対し、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働には中止を含め慎重な対応を強く求めるもの。	中野 和美	原案可決	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 経済産業大臣 環境大臣 県知事



▲発議第2号意見書を読み上げる中野議員

議 会 か ら の お 知 ら せ

田上町議会フェイスブックのご案内

町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。町のホームページからも閲覧できるようになりました。ぜひ、アクセスしてください。QRコードからでもアドレスを取得できます。

<http://www.facebook.com/tagamimachigikai>





池井 豊 議員

ここが聞きたい

一般質問

佐野町長の「みんなで決める」とは、どんな手法で

町長：ワーキンググループの中から皆さんの意見を吸収していきます

「みんなで決める」の実現性はいかに

問 「みんなと決める、みんなが進める、熱い想いを町政に」と政策スローガンがあり、「みんなで知恵を出し合い、考え、決める・・・」また、「町民の

町長 高齢者が生きがいを感じ、若者が夢や希望を持てる町でございます。そして、この2つに共通することとして安心して暮らせる町ではないかと考えております。安心な暮らしとは、幸せな暮らしができることでもあります。

問 この町に住んでみたいと思える町に・・・とありますが佐野町長が描く「住んでみたい町」とは具体的にどのような町をイメージしたものでしょうか。

所信表明を受けて質問します。住んでみたい町のイメージは

町長 各種団体代表などが参加してのワーキンググループを設置して、町民の方々、町職員、議員の方々が一堂に協議する場を設ける必要があると考えています。また、区長会を通じて各地区の抱える問題点に耳を傾けていきます。私自身が現場に向向いていくことも大事だと思っています。

みなさまからの意見が町政に反映するような工夫」とあります。町民の参画、または町民の声を聴取する方法はどのような手法を考え「みんなで決める」を進めていきますか。

町長 移住による人口対策については、現在行っている移住対策事業を継承していきます。田上町総合戦略の事業評価を行う中で必要に応じ検討していきます。関係人口を増やすことは、大変意義のあることだと思いますが、具体的にどのような事業ができるのか、ほかの動向を見ながら研究をしていきます。

問 「人口減少の危機を乗り越えるには、やはり『子ども達』によって人口が増えていかなければ」とありますが、移住による人口対策はいかに考えていますか？

移住者による人口対策と、関係人口の増加策を



▲竹の友幼稚園プール風景

町長 子育て支援策を少し使い勝手のよいものにするなど、助成制度を再検証して、使用範囲の拡大等が可能であるかなどの、補強していきたいです。12か年教育についても弱い部分があるとの認識ではありません。

問 『子育て支援策』や『田上の12か年教育』の推進のための補強」とありますが、どのような部分に弱いところがあって、どのようなところを強化し補っていく必要があるかを尋ねます。



高橋 秀昌 議員

無駄な公共事業を見直し、町民に寄り添った町政を

町長：検討します

子育て支援と高齢者の強化を

問 子どもの医療費助成の自己負担0円を求めます。

自己負担額は、入院で1日1200円、通院で1回530円必要です。0円にする新たな予算は、550万円。町の実施で積極的な子育て支援となります。

町は、人間ドックの助成額2万7千円ですが74歳まで。75歳になると1万円に減額です。75歳になっても同様の助成を行うべきです。必要な予算は300万円です。これらを実施しても850万円あれば実現します。あじさいロードに2900万円使うよりも大きな価値です。

町長 医療費助成の新たな町負担は、900万円。75歳以上の人間ドック助成に15万円、合計915万円の負担となります。財政を考慮して検討します。

役場跡地売却と町公民館の解体に反対

問 町有地は、町民の財産です。本田上地区内の町有地が町民への説明も同意も無しに勝手に売却されてしまいました。暴挙と言わなければなりません。役場跡地も住民の合意も得ずに売却する方針です。

住民不在の町の姿勢に厳しく抗議し、反省を求めます。役場跡地の売却を地元住民は望んでいません。この土地は古くは石田氏が所有し、後に田巻家の所有となり、田上町の役場として歴史的な役割を果たしてきました。売却計画を撤回し、有効な活用のために地域住民を始めとする町住民と有効活用を検討することを求めます。

町は、現在建設中の交流会館が完成したら、町公民館を解体すると区長に伝えました。一方的な解体方針を撤回するように求めます。町公民館は、地元本田上自治会に無償貸与することを求めます。

本田上公民館敷地は町が買取を

問 本田上地区公民館の敷地が財務省所有となっており、財務省から買取を求められています。町が購入して、本田上自治会に無償貸与することを求めます。

町長 本田上地区内の町有地売却は、地元区長に話しており、勝手にやったものではありません。役場跡地利用は、検討会を作る必要があると、前町長から引き継いでいます。

治会や寿会、書道、太極拳、ダンス、ヨガ、コーラス、絵画、切り絵、ツールペイント、キルト、囲碁など様々な活動で町民が利用しています。一方的な解体を決めるのは町の主人公は住民であることを忘れたか、役場が主人公だと思いがあっているとしか言いようがありません。



▲本田上地区公民館

課長の答弁書を読むだけではなく、新町長に相応しい答弁を求めます。町長 購入には160万円が必要であり、前例がありません。本田上地区との協議は保留させて頂いています。選挙でも訴えたように、町民の声を大切にします。



こじま けんいち
小嶋 謙一 議員

町長が描くオール田上を実践する前提は、町民にわかりやすい情報の提供を！

町長：町民の方々に細かく情報発信をして、多様な意見をいただけるよう十分心がけていきたい

ここが聞きたい

一般質問



せきね かずよし
関根 一義 議員

“副町長空席” 政治姿勢を問う

町長：確約できないが、9月議会に提案出来るよう努力する

原発再稼働に対する町長の所見は

問 原発の過酷事故、複合災害時の住民避難、そして核廃棄物の処理等、現状では制御できない課題となっています。30年2月に柏崎刈羽原発の周辺自治体の住民意識調査が実施され、国が示している避難指針の実効性の破綻が指摘されています。

また町が策定した原子力災害対策編は、過酷事故を想定するとうたっています。事実上「安全神話」を否定したものです。

一方、国は再稼働の姿勢を強めています。原発再稼働に対する町長の所見を伺います。

町長 県が示している3つの検証が終わらない限り議論はしないとしましたことに尽きます。現段階における原発政策の問題点は、議員が指摘されるとおりであり、政府が原発政策を維持するのであれば、解決

所信表明について具体的な実践策を尋ねます

問 所信表明には政策の基本方針にしている「オール田上」という表現が随所に現れます。オール田上を実践していくには、町民へ施策の根拠等々をこれまで以上に知らせることが必要で、町民から理解と協力を得られなければ、町長が言われるこの基本方針は実現しません。

「オール田上」を実践していくにあたり具体的にはどのような進めていくのか尋ねます。

町長 オール田上には多様な人材活用と、みんなで力を合わせるこの2つの思いを込めました。この上で立案根拠は課題解決だと思っています。

限られた予算の中、限られた職員ですべての課題や問題点を把握し解決策を模索するのは困難であり、非効率と考えます。したがってみんなで決める態勢づくりを構築した

策を明確に提示して頂くことを望みます。

町政運営の基本的方向性は

問 町長は、「10年、20年後も田上町を存続させたい」と訴えるが、町が持続的に自立する行政の基本的方向性を示す責任があります。

町長 人口減少下の行政運営に関しては、持続的に自立するための町の財政基盤を確立することであると考えています。

迅速な対応を怠れば、行政の空白を招く

問 副町長、教育長の人事案件は議会の同意に基づく町長の選任案件です。人事案件の迅速な対応を怠れば行政の空白を招き、政治姿勢が問われます。9月議会に示す決意はありますか。

いと思っています。

問 具体的政策はこれからと言う事ですが、町政に停滞があってはなりません。今、町はバイパスの開通と商業施設の進出や農地の基盤整備を手掛かりに大きく変わろうとしています。町政の運営にあたり事業の継続や見直しなど具体的施策はいつごろをめどに据えているのか尋ねます。

町長 町で既に進めている事業の検証を行いつつ、まちづくり財政計画で中期財政計画をお示しするとともに、新年度予算を提案させていただくときに具体的な施策を提案させていただきます。

問 所信表明の最後に「風通しの良い職場づくり」に触れていますので、私は是非とも「職員提案の実践」を取り入れて頂きたいと考えています。町長の考えを尋ねます。

町長 人事案件について大変ご心配をかけていることにお詫び申し上げます。9月議会までとの確約はできませんが、努力します。

産業振興策の具体案を示すべき

問 町長が示している産業振興策はあまりにも抽象的です。町の産業振興策の課題は、4月から施行した中小企業振興基本条例の具体化、広域観光の推進、農業法人の育成・支援が喫緊の課題です。具体的施策の考え方を伺います。

町長 中小企業振興基本条例の具体化、広域観光の推進、農業法人の育成・支援など提言を頂きました。商業支援は、国、県の動向及び経済状況を見定め、支援政策を講じます。観光政策は、既存の観光施設等との回遊性を高める施策を研究していきます。

公共交通見直しはどのように進めるのか尋ねます

町長 風通しの良い職場と言うのは職場に信頼関係があり、職員同士意見が何でも言い合える環境であると考えています。職員から多種多様な提案が出され、良い提案であれば実践すべきものと考えています。

問 公約に掲げている巡回バスの設置については「早急に」と所信表明の中で唯一時間的指標を明らかにしています。公共交通の見直しには多くの課題を抱えているのが実状です。この実現へ向けてこれまでのようにワーキング・グループを活用して進めるのであればグループの人選と公共交通の見直しと実現について尋ねます。

町長 現在整備を進めている道の駅がみは地域活性化の拠点になる企画で、必要な情

県の農業政策は、園芸作物の導入による所得向上、ひいては担い手、後継者の育成を図るとしています。生産者、関係機関と協議し農業振興を図っていきます。

公約実現の財政展望を示すべき

問 公約は町の第5次総合計画や公共施設等総合管理計画との整合性が必要です。また公約実現の財政展望を示す責任があります。

町長 財政状況を見ながら政策を実現していくのは当然のこと。財政基盤を強化できる事業には積極的に予算投入し、悪化させる事業は、歳出の抑制に努めます。

報を共有、調整する組織として重点道の駅整備推進協議会の中にインフラ整備、にぎわい創出、地域連携・地域福祉の3つのワーキング会議を設置し協議を行っています。地域連携・地域福祉ワーキング会議では、いろんな立場、いろんな角度と観点から人材を募り、決まりきった形が出るような会議にならないよう道の駅と住宅地、集落地域を結ぶ移動手段として公共交通の導入を検討していきます。このたび判断材料として老人クラブ連合会から協力を頂き、高齢者約900人を対象にした意向調査を行います。将来にわたって公共交通を充実させ、町内を巡回する公共交通の検討を行っていきたく考えています。



わたなべ かつえい
渡邊 勝衛 議員

多様な災害に強い町づくりのために町主催で防災訓練を

町長：町主催の防災訓練、できれば毎年実施するのが一番だと思います

町長 現在町では、防災行政無線整備に向けた準備を進めております。31年度にその整備に着手し、32年度に運用を開始する予定でいます。そのこけら落としも兼ねて、町全

問 30年も災害が発生してあります。6月の大阪北部地震、7月の西日本を中心に記録的な大雨となった「平成30年7月豪雨」田上町でも必ず発生すると思われる災害です。災害に備えて町主催で防災訓練の実施と町で防災の日を設定することにより各地区の災害に対する活動も活発になるかと思われれます。毎年防災訓練を実施している地区もあります。それは自分を守り、地区を守るのに必要な活動であるからです。中身の違う防災訓練の実施も必要です。

**町主催で防災訓練の実施
町で防災の日を設定**

町長 現在町では、防災行政無線整備に向けた準備を進めております。31年度にその整備に着手し、32年度に運用を開始する予定でいます。そのこけら落としも兼ねて、町全

問 29年度の消雪パイプの稼働は井戸36箇所、川5箇所、計41箇所の道路施設用の稼働でした。通学道路である田上小学校、羽生田小学校の消雪パイプの稼働はありませんでした。今年の冬は、大雪で田上小学校の玄関前まで行けず、マイクロバスも坂の下で生徒がくるのを待っています。この上り坂、学校が竣工

町全体の消雪パイプの稼働率を100%に

体での防災訓練を実施していきたいと考えています。町主催の防災訓練、できれば毎年実施するのが一番だと思います。他の市町村がどういふような形で実施しているのかそれらも研究して検討していきます。

町長 消雪井戸を掘れば簡単なのだろうと思いますが、そこが岩盤ということですが、それが聞いています。どういふ方法があるのか、その辺もあわせて検討していきたいと思

スピード感を持った対応を町長に提案します。

した昭和59年に消雪パイプが完成しています。消雪パイプの設置の目的は、言うまでもなく雪が降っても安全に生徒や車が往来できるようにするための願いからであったと思われれます。その後、消雪パイプは30年以上稼働していませんでした。上り坂を歩いて登下校する生徒も沢山います。車がスリップし、生徒をはねたり、巻き込んだり大きな事故となる可能性も想定されます。生徒が安心、安全に登校できるよう、消雪パイプの復活をお願いします。安心、安全を考えれば補正予算を組み、次の冬が来る前に稼働して頂きたいです。

町長 町では、6月22日に町内3校を緊急点検しました。その結果、建築基準法の規定に適合しない1.2メートル以上のコンクリートブロック塀は学校に存在しないことを確認しました。

町長 町では、6月22日に町内3校を緊急点検しました。その結果、建築基準法の規定に適合しない1.2メートル以上のコンクリートブロック塀は学校に存在しないことを確認しました。

問 今年6月18日、大阪北部地震が発生しました。震度6弱の地震で建築基準法の規定に適合しないブロック塀が倒壊し、通学途中の小学4年生の女子生徒が死亡する痛ましい事故が発生しました。全国の各自治体で危険なブロック塀がないか調査しております。町でも3校の小・中学校があります。建築基準法の規定に適合していない箇所について尋ねます。

建築基準法の規定に適合しない箇所は

ここが聞きたい

一般質問

町営巡回無料バスの早期実現はいかに

町長：町営の巡回バス早急に検討が必要



まつばら よしこ
松原 良彦 議員

町長 「町営巡回無料バス」の計画が選挙リーフレットに示されました。その中身は、(買物に行けない、病院に行けないを無くします) 町民の切実な願いの解決策でもあり、早急に予算付けなど検討が必要

問 佐野町長は今回の町長選挙選において、福祉や、町づくり、教育など、誰もが期待する今後の町の方向を示したものでした。町長は「町営巡回無料バス」について、早急に検討が必要と認識しています。議会でも、交流会館、道の駅開業までには巡回バスを運行させたいと願うところです。地域福祉ワーキンググループでも、公共交通導入の検討をしています。中々結論が出ずに今日に至っています。

町営巡回無料バスの早期実現に向けてのスケジュールは

町長 無料を強調していますが、すべて無料でできれば大変良いことだと思いますが、財政上の問題もあります。私は、免許証返納者や交通弱者に対する人達の無料を考えています。町営巡回バスというものはもっと広域的な形のもので道の駅、交流会館への巡回バスをこれからのいろいろな形で展開させていきたい。当然、財政的な問題もあるので、ど

考えていないなど、公約にあった意味合いを相当数減らしてきているのではないかと、無料で巡回バスを出すと公言したのだから、実行して欲しい。後もどきするような話は町民に対して公約違反の部類に入るのでないか。今後、公共交通縮小のしわ寄せなどで、間違いなく増える買い物難民・運転免許証返納者・障がい者・高齢者対応であり、除雪と同じように「町の仕事」と思われます。町長の考えを尋ねます。

考えていないなど、公約にあった意味合いを相当数減らしてきているのではないかと、無料で巡回バスを出すと公言したのだから、実行して欲しい。後もどきするような話は町民に対して公約違反の部類に入るのでないか。今後、公共交通縮小のしわ寄せなどで、間違いなく増える買い物難民・運転免許証返納者・障がい者・高齢者対応であり、除雪と同じように「町の仕事」と思われます。町長の考えを尋ねます。



▲コミュニティバス(見附市)

基本運賃	大人(中学生以上) 100円 子供50円 未就学児 無料
1日券	大人 200円 子供 100円
子育て応援カード利用	大人 50円 子供 30円
運転免許返納証明書利用	本人 50円
定期券(4/1~)	3ヶ月 12,000円

こういう形で料金体系を組むのがよいか、全部無料にできるのか、これからの課題です。大勢の方々からご意見を頂戴しながら検討していきたい。

町長 20~21年度に耐震診断を実施し、中学校B棟、トイレがある西側は補強工事の必要があったため、22年度に実施し、クリアしています。町民体育館については耐震診断をしていないので、地震時の避難所にはしていない。中学校の駐輪場の一つを車の駐車場にしているのは提案ですが、現地を見て検討します。

問 大阪北部地震で小学校4年生女子生徒が、学校敷地内のブロック塀の下敷きになり亡くなりました。竹の幼稚園や両小学校、町民体育館など公共施設の点検修理は終わりましたか。中学校の2棟ある駐輪場の1棟はがら空きに等しい。町体、中学校行事などでは道路駐車が多いが、駐車場の増設など検討して欲しい。

学校の耐震化と指定避難所の駐車場不足について



なかの かずみ
中野 和美 議員

「幸福を追求するまちづくり」の保育・福祉・農政は

町長：保育士の処遇・生活支援体制整備事業・農業再生協議会等にて今後検討

ここが聞きたい

一般質問

現状に沿った政策を実施してもらいたい

町長：公約実現のため、使い勝手が悪いものは見直し、必要なものは新しく取り組みます



ふじた なおいち
藤田 直一 議員

所信表明について

問 緊急の課題である人口減少化と高齢者対策の取り組みについて、若い人が安心して子育てできる町づくりと高齢者の皆さんが安心して暮らせる町づくりのためどのように取り組めますか。

本田上工業団地に進出するプラントとの契約状況は。道の駅たがみの指定管理希望者は、何社くらいの応募を想定していますか。

将来、道の駅施設を町の「負の遺産」にさせないためにも町長の考えを聞かせてください。

町長 若い夫婦にとって子育ての不安は経済的負担。小学生の給食費負担の軽減（第2子半額、第3子から無料化）、無料放課後塾の設置、2歳児までの子育て助成金の見直し、子ども達が安心して遊べる施設の拡充などに取り組みます。現在の子育て支援政

保育職員の処遇改善について

問 前町長は「子どもの数が減少する中で、出生数に合わせて非正規の保育士をもって児童数と保育士数のバランスをとり、調整していく」という旨の答弁をしましたが、親とたがわれない程の愛情を注いでくださる保育士の待遇が、非正規で継続されているとしたら、それはやはり見逃せません。24年施行の雇用契約ルールに基づき、町が民間の見本となるよう処遇改善の努力を願います。町長の考えを尋ねます。

町長 今年3月には、7人もの臨時保育士が退職する事態が起きました。退職理由は皆毎月の給料の額より正規職員としての安定した地位と職場を求めているということでした。30年度から非常勤保育士の新たな処遇改善策として、勤

策を引き継ぎ、使い勝手が悪いものは見直し、強化が必要なのは新しく取り組むか、補強します。

高齢者のために除雪対策を充実させ、世帯の除雪負担を軽減し、町営巡回バスの設置第二あじさいの里建設を検討します。

プラントについては、工事着工の時期が不確定のため、覚書に基づく契約を結んでいますが、進出、開店が見えた段階で改めて公正証書で契約します。

道の駅たがみ指定管理希望者の応募は現段階で何社くらいというのはありません。

除雪体制について

問 今回の大雪で一番苦情や要望があったのは、山沿いに住む住民です。除雪出動基準の10cm以上の降雪は、どここの地点を示し、何力所あり、また山沿いにはありますか。降雪基準地点が10cm以下でも山

沿い地域はそれ以上の降雪であるとあります。山沿い地域を特別に指定し、平地と違う除雪体制を作ってもいいのではないのでしょうか。

町長 役場観測所の数値を採用しており、山沿い地区に観測所はありません。観測地点が10cm以下でも山沿い地域がそれ以上のことは十分あり得ます。

積雪や降雪状況等の情報収集に努め、職員が道路パトロールを行い、総合的に判断して出動する体制をとっています。状況によっては、一斉除雪のほか、山沿い地域中心の部分除雪も対応するので、別の除雪体制は考えておりません。

サル被害対策について

問 6月22日から鶯ヶ沢桃団地や茗ヶ谷地区で野生のサル20数匹が出没し、ネギ、ジャガイモ、桃などの農作物に被害が出ました。現状をどのよう

に把握し、どのような対策を考えていますか。農家が個々に電気柵、ネット柵、ロケツト花火などの対策をする場合、町から補助があってもいいのではないのでしょうか。

町長 野生のサルは数年前に目撃情報があり、その時は農作物等の被害はありませんでした。しかし、6月22日の朝に、農業者、地域の方々から目撃被害情報の連絡を受けて、猟友会や職員がパトロールを行い、被害状況を確認しました。ジャガイモ、ネギ、桃などの被害が出ました。猟友会による駆除や捕獲のために、箱ワナ設置も手配し、また、出没した地域の皆様には回覧にて注意喚起を行いました。個人への電気柵等の購入補助は、県や隣接自治体の状況を踏まえて有効策があるかどうかも含めて検討します。

農業政策について

問 田上ブランドとして古代小麦も検討して頂きたい。古代小麦は丈夫な生命力を持ち、天候や環境の変化にも強く、肥料を必要としないので、自然栽培、自然農に向き、人工的な品種改良をされておらず、アレルギーを発生しづら。他の小麦と比べ収穫量は多く見込めませんが、栄養価や価値は群を抜き、ブランド価値も高い。小麦は耕地利用率を高め、農家の収益性、食料自給率の向上に役立つ重要な作物です。町長の考えを尋ねます。

町長 田上町においても稲刈り後、小麦を作付する農業者もおり、麦の生産量が増加すれば、田上産小麦を使ったパンや麺の商品化や特産化としての可能性につながることも考えられますことから、今後田上町農業再生協議会等で小麦も含めて田上町の特産となる農産物について調査研究します。

独居老人、独居障がい者の安否確認、緊急時の対応について

問 田上町内の事例により、人感センサーによる見守りも考えられます。室温、湿度、照度、熱感知等の機能が格段に向上し、プライバシーも配慮された見守りが出来るようになりしました。介護保険対応センサーによる見守り支援システムの自治体導入事例もあり、行政が率先して導入を促しやすいと考えます。

見守り、緊急時の対応についての現状と今後の考え方について尋ねます。

町長 現在の取り組みとして一つ目は、緊急通報装置の貸与（現在約60名の方が利用）二つ目は、配食サービス（業者が昼食を届ける際に安否確認。現在27名の方が利用）三つ目は、ケアマネージャーによるもの（在宅の要介護・要支援認定者に限定。現在の認定数は約700名）四つ目は、民生委員によるもの（19年以降、民間事業者と県とで現在15団体と14協定を締結。24年度からは、民生委員児童委員協議会で安心カード）などです。今後もこれらの事業を継続して実施し、見守りや安否確認を密に行い、緊急時の対応がスムーズに行われるよう引き続き取り組みます。30年度から始まりました生活支援体制事業でも新たな形の見守りや安否確認の方法について検討します。



たかとり まさと
高取 正人 議員

人口増化政策が必要です

町長：総合戦略を評価し、これからの課題としたい

町の人口が増えた要因の一つとして加茂川改修があったと思います。市街地の加茂川を広げるために、両脇の民家に移転をしていただき、移転する方の一部が田上町へ流入したという話があります。移住者の多くは一般企業に勤め

町長 少子化の進行によって、学校施設の適正配置を検討する必要があります。現段階ではその時期は特定しておりませんが、今後の少子化で小学校が複式学級になることは避けたいと考えています。移住、定住政策などの町の

町長 小・中学生の人数は減少傾向にあり、現在一歳の子供が小学校に入学する頃は、複式学級化には至りませんが、一学年、一クラスになるケースが考えられます。築35年を超え修繕しなければならぬ箇所が増えております。修繕費の見込みは、財政計画の中で調査をしていくが、今はまだ統合を検討する時期には来ていないと考えます。少子化対策の中で学校問題を検討していきます。

町長 加茂市と取り組みが必要と認識しています。現状について十分調査し、把握した上で、早い時期に加茂市長と協議していきたいと考えています。

他の質問項目として「副町長、教育長の人選について」「本田上工業団地売却について」「入湯税について」の質問をしました。

ここが聞きたい

一般質問

人口減少と学校維持費、学校統合の必要性は

町長：頭から離れない学校の問題ですが、今は統合の時期でない



つばき かずはる
椿 一春 議員

優れた人材の積極的活用

町長の中で不足と感じることは、NPO法人を育成する体制づくりとして次の三点が必要です。

- ①法人設立の支援
- ②助成金取得の支援
- ③町独自の助成金枠

NPO法人は、行政では、できないような積極的社会奉仕活動をしてくれる団体で、町の問題解決の活動につながり「福祉事業」や、「子育て支援」が発展するべく、「優れた人材の発掘」ができると思います。町長の考えを尋ねます。

町長 NPO法人の設立は県が承認権限を持っていますが、設立支援は可能な限り、相談対応します。

助成金申請の窓口は、具体的活動があれば相談ください。町独自の福祉活動に対する助成金枠は今のところはあります。

人口減少と維持経費から見た統合検討を

出生数は年間40名と人口が減少の傾向にあります。2つの小学校では一学年20人となります。

計画的な維持管理の一環なのか、30年度に中学校の校舎正面のみの塗装工事が予定されています。しかし故障・不具合による突発的な工事が多く、近年では、水道管の漏水改修工事、ガス漏れの改修工事、体育館屋根の水漏れによる大規模改修工事が行われています。

しかし、建物を維持していくために、改修計画と予算規模の検証が必要です。

この維持管理費の問題と入学児童の減少の問題の二面的問題から、学校の統合計画を立案し検討を進めた方が良いと提言します。小学校の統合や、小・中学一貫校等の検討する事の必要性について、町長の考えを尋ねます。

清掃センターと「ゴミの分別・資源化

町長の公約にも清掃センター改修・新設とあり、問題意識は共通だと思います。

ゴミ処理が間に合わず野積み現状です。広域連携等でも、ゴミを減らすために分別をして資源化する事も必要です。町長の清掃センター問題に対するタイムスケジュール等を尋ねます。



▲清掃センター野積みの現状

少子化問題、移住対策は

27、28、29年度の出生数は、年平均40人くらいです。今年の新成人数は120人ほど、また3月の中学校の卒業生は70人ほどです。生まれた子どもが田上で育ち、流出せずに就職、結婚、子育てを行うという単純なモデルを考えると、

つり鐘型の人口構成で、平均寿命を80歳とすると人口1万人を維持していく場合、毎年の出生数は120人程度です。人口6千人を維持していく場合の出生数は75人くらいです。出生数が著しく減少しています。毎年の出生数が40人の場合、80年後には人口3千人になってしまいます。

町の人口が増えた要因の一つとして加茂川改修があったと思います。市街地の加茂川を広げるために、両脇の民家に移転をしていただき、移転する方の一部が田上町へ流入したという話があります。移住者の多くは一般企業に勤め

られているサラリーマンの方たちです。その人たちが田上で子育てをし、子どもたちの多くは進学、就職で都会に出ていき、そこで結婚し子育てをしている現状があります。このままの出生数では、数年から十年後には幼稚園の定員割れ、小学校の統廃合も考えなければならぬかと思えます。

これ以上の少子化が進んだ場合、小学校の統廃合は何年後くらいになるか尋ねます。また、移住、定住対策などの人口増加政策が必要と思いますが、どのように考えていますか。

ごみ焼却場の改築は

人口増加策については、町が行っている人口減少対策をまとめた田上町総合戦略において、毎年各事業の評価を行い、PDCAサイクルを回していくこととしていますので、今後、総合戦略の事業評価を行った後、検討した上で示したいと考えています。

清掃センターは、通常20年程度の耐用年数ですが、運転開始後38年を経過し、毎年多額の修理費用をかけて、今なお運転中です。新たにスト

ーカ方式の燃焼炉を建設する場合、加茂市、田上町の4万人が1日当たり15キロの生ごみを出すと仮定すると、1日60トンの排出量となります。1トン当たりの建設費用を8千万円として計算してみると48億円、約50億円の費用が必要

です。近年市町村合併により大型の市が誕生していますが、旧

来の町村の持つ小型の焼却炉は運用費が割高なため、小型炉の運用をやめ、大型炉のみを運用しているようです。焼却炉の建設には多額の費用と時間がかかります。焼却センターの建設の費用とその時期についての考えを町長に尋ねます。

私の政策の一つが町民にきれいな空気をということですので、清掃センターの改修、新設はいずれ必要であると

総務産経常任委員会付託案件審査

専決処分 29年度田上町一般会計補正予算(第13号)

歳入歳出にそれぞれ132万8千円を追加し総額を49億7千万4千円とする補正です。

歳入は、特別交付税、臨時市町村道除雪事業費補助金などが主なものです。

歳出は、総合行政システム改修委託料の減額、社会保障・税番号制度システム整備事業の減額などです。

専決処分 30年度田上町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ395万4千円を追加し、総額を49億7395万4千円とする補正です。

歳入は、繰越金です。歳出は、林道、町道の倒木処分費用が主なものです。

専決処分 同年度田上町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ630万円を追加し、総額を49億8025万4千円とする補正です。

歳入は、県支出金、繰越金です。歳出は、県知事選挙費です。

専決処分 同年度田上町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出にそれぞれ435万5千円を追加し、総額を49億8460万9千円とする補正です。

歳入は、繰越金です。

田上終末処理場水処理施設(電気設備)改築更新工事請負契約

契約金額2億1114万円 契約の相手方 中越大栄・志田・滝沢特定共同企業体

平成30年度田上町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ5859万3千円を追加し、総額を50億4320万2千円とする補正です。

歳入は、繰越金、町債などが主なものです。

歳出は、各費目にわたって4月の人事異動に伴う給料手当、共済費等の増減が主なものです。湯川地区公民館へのコミュニティ助成金、道路維持舗装工事を国の補助金事業から町の起債事業へと組替えたことによる減額、中店地区(第4分団)のポンプ車庫の移設費用などです。

同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出の減額は、4月の人事異動に伴う減額です。

同年度田上町水道事業会計補正予算(第1号)

収入・支出の減額は、4月の人事異動に伴う減額です。

審査の結果は、いずれも全会一致で原案どおり、承認・可決しました。

Check 議論の身身

Q 除雪費に補助金はありますか。

A 通常、補助金はなく、当初予算を超えた追加分は財政調整基金を取り崩しています。今回の特別交付税、臨時市町村道除雪事業費補助金は豪雪の災害対策として補助されたものです。

委員長 高取正人



▲林道護摩堂線災害復旧現地調査

■主な議案内容

- ・たばこ税率の引き上げ決まる
- ・中学校音楽室に空調設備を設置

専決処分 田上町税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正が行われ、そのために町税条例等の一部を改正するものです。

町民税の均等割の非課税要件の拡大や、町民税の所得割の非課税措置の拡大、たばこ税率の引き上げなどです。

たばこ税率を30年10月1日から3段階で引き上げるもので、(国と地方併せて1本当たり1円ずつ計3円)3年後一箱520円位になる見込みです。

専決処分 国民健康保険条例等の一部改正

国民健康保険運営協議会の名称変更に伴う条例の一部を改正するものです。今後は、県が国民健康保険の運営に係わることとなります。

専決処分 国民健康保険税条例等の一部改正

保険料軽減世帯を拡大する為の所得判定基準の改正です。保険料賦課限度額を54万円から58万円に上げるなどです。

専決処分 29年度一般会計補正予算(第13号)

幼児園運営事業、918万8千円の増額は、給食材料費及び広域入所委託料不足分の補正です。

Check 議論の中身

Q 広域入所の園児11名の委託料追加を見落とした原因や、広域入所の割合が増えている要因は何か。

保育士の不足に関して見直し等が必要ではないか。

A 今回は人的ミスであり今後は2重、3重のチェック体制づくりと、広域入所委託先市町村の委託料をチェックす

るなど適切な執行管理を行っていきます。

広域入所が増えたことは、転入世帯の園児が元の幼稚園を利用するケースや、出産で里帰りした親元の幼稚園を利用する園児が多かったためです。

保育士不足は、近隣に小規模保育施設が新設されていることや、事業所内に保育施設を併設していることも、要因の一つになっています。

専決処分 30年度一般会計補正予算(第3号)

歳出は、田上中学校音楽室空調設備工事費435万5千円です。

30年度一般会計補正予算(第4号)

歳出では各課共通の人事異動に伴う人件費の増減整理を除けば、衛生費では総合福祉センターの浄化槽の修繕費

15万1千円、臨時事務職員の手当負担金19万3千円、冬の大雪で野球場の樹木が倒れその処分費用22万7千円などです。

審査の結果は6議案とも承認、原案可決しました。

委員長 松原 良彦



▲社会文教常任委員会付託案件審査

加茂市・田上町
消防衛生保育組合

3月定例会

期日 平成30年3月29日
場所 加茂市役所

29年度一般会計補正予算は、病児保育園の拡張用地取得のため2980万7千円を増額するものに対し、購入用地には不要な緑地が含まれるとし、反対討論がありました。採決の結果、反対少数で原案可決しました。

30年度一般会計予算は、前年度と比べて1億663万4千円減の総額9億9495万5千円。
加茂市・田上町消防衛生保育組合病児保育園設置条例の制定。
原案どおり可決しました。

組合議員

関根 一義
池井 豊
川崎 昭夫
浅野 一志

交流会館等建設調査
特別委員会

直売所等の指定管理希望者募集方針について

【第17回】

期日 平成30年5月10日
特別委員会や道の駅整備検討委員会が出された意見等を基に、内部で検討し、募集要項を修正した箇所について説明がありました。

【第18回】

期日 平成30年7月3日
新町長、新議員4人を迎えてのメンバーで開催しました。前回検討した募集要項の修正案について説明、協議の予定でしたが、新議員から今までの経緯や資料説明を強く求める質疑等があり、改めて開催することにしました。

【第19回】

期日 平成30年7月12日
募集要項の説明を聞いた後、協議に入りました。

質疑で、募集を開始してから、指定管理希望者説明会参加締切までの周知の期間が短すぎるとの指摘があり、次の特別委員会の開催までの検討課題としました。

【第20回】

期日 平成30年7月18日
前回指摘のあった募集期間について説明後、質疑・意見を聞きました。
指定管理希望者説明会参加者の皆さんに時間が必要で、町長提案の日時で了承しました。

委員長 小池 真一郎

全員協議会

期日 平成30年5月10日

今冬の雪による林道等の被害状況

林道「今滝・冬鳥越線」他6路線や町道の倒木や路肩崩壊の状況が報告され、30年度は倒木処理、仮復旧とし、来年度に農林県単事業で本復旧を行いたいとの説明がありました。

竹の幼児園関係の29年度委託料等が不足

広域入所が当初より11人増加していることや、給食材料費の不足が報告されました。

中学校音楽教室に空調設備を設置

音楽室に空調設備を30年度予算で設置したいとの報告がありました。



▲本田上工業団地は完売

議長 熊倉 正治

未分譲となっていた約1万2700㎡と3400㎡の2区画の分譲予約が確定したとの報告がありました。

本田上工業団地の分譲が完了

町道の舗装関係工事費が、国の交付金制度の改正により、交付金事業から起債事業に変更となるため、30年度で予定していた町道2路線分、約3300万円の工事費が変更となるとの説明がありました。

30年度社会資本整備総合交付金の制度が改正

議会からのお知らせ

議会会議録をホームページに掲載します

本会議および委員会会議録をホームページに公開しています。
各定例会の約3か月後に公開となりますのでご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は9月6日(木)からの予定です。
請願は8月30日(木)までに提出されたものを
9月定例会で審議します。



「議会だより」の表紙写真大募集!

「議会だより」の表紙写真を大募集しています。どしどしご応募ください!

<応募方法等> 氏名、住所、年齢、連絡先、写真のタイトル、写真の撮影時期を明記し、郵送もしくはメールにてご応募ください。なお、ご応募いただいた写真やデータは返却いたしませんので、ご了承ください。

<問い合わせ先> 田上町役場議会事務局
〒959-1503 田上町大字原ヶ崎新田3070 番地 TEL:0256-57-6300
E-mail:t3001@town.tagami.lg.jp

新任議員の 決意



このたびの補欠選挙で、元職の2人、新人2人が当選されました。

▲ 新任議員の皆さん
(左から、藤田議員、渡邊議員、中野議員、高橋議員)

高橋 秀昌 (日本共産党)

皆様のご支援で議会に送って頂きました。

国の政治があまりにもひどい時だからこそ、日本国憲法の住民こそ主人公の立場で、町政が町民に寄り添った町の政治が行われるように在任期間を努力していく決意です。

皆様のご支援とお力を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

中野 和美 (町民クラブ)

この度、田上町議会議員補欠選挙にて二期目を迎えさせて頂きます事、身を引き締め、真摯に町への貢献をお誓い申し上げます。多数決で議決されるものであっても、少数派の意見を汲み上げる志を持つ議会でありたいと努力して参ります。印刷文にて感謝をお伝えする事は、公職選挙法上差し控えますが、今後共、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

渡邊 勝衛 (町政クラブ)

今年、西日本を中心に「平成30年7月豪雨」220名を超える方が亡くなりました。地震も毎日、全国どこかで発生しており、田上町でもこの対応が不可欠となっております。23年7月新潟・福島豪雨により1名の方が尊い命を亡くしております。多様な災害に強い町作りには町が丸と丸となつて取り組むことが必要です。町長をトップとして、多様な災害に強い町づくりに挑みます。

藤田 直一 (町民クラブ)

私は民間で養ったノウハウをいかし、良い政策は良いとして、悪い政策は悪いとして公平な立場で提案する、判断することを心掛けて是々非々で取り組んでまいります。地域におけるいろいろな問題については、皆様のご意見を区長さんと連携を図りながら議会への提案や町への陳情を行ってまいります。

編集後記

6月の補選後、初の定例会が7月3日から15日間に渡り開催されました。

一般質問には、補選当選の4名を加えた計10名の議員が、佐野新町長に多くの質問を行い活気ある議会となりました。

今後も田上町発展のために活発に議論を交わし、活力ある議会となるよう邁進します。

暦の上では処暑となりましたが健康にはくれぐれも留意して頂きたいと思えます。

9月議会には多くの皆様より議会の傍聴をお願い致します。

(渡邊 記)

委員長 浅野 一志
副委員長 高取 正人
委員 松原 良彦
委員 中野 和美
委員 渡邊 勝衛
委員 小嶋 謙一
委員 藤田 直一